

図 画 工 作

発行者の番号 略 称	教 科 書 の 記 号 番 号	総ページ数	検 定 済 年
2 東 書	図工 107・108 , 307・308 , 507・508	192	平成 1 6 年
9 開 隆 堂	図工 109・110 , 309・310 , 509・510	192	
116 日 文	図工 111・112 , 311・312 , 511・512	192	

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者
18冊	東書、開隆堂、日文

2 学習指導要領における教科の目標等

【図画工作科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。

【第1・2学年の目標】

- (1) 表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- (3) かいたり、つくったりしたものなどを見ることに関心をもち、その楽しさを味わうようにする。

【第3・4学年の目標】

- (1) 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもちとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。
- (3) 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもち見るとともに、それらに対する感覚などを高めるようにする。

【第5・6学年の目標】

- (1) 造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。
- (3) 作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にできるようにする。

【参考・小学校学習指導要領解説 図画工作編 第1章総説（平成11年5月）改善の具体的事項より抜粋】

改善の具体的事項

- (ア) 学校や児童の実態等に応じて弾力的な指導が行われるようにするために、目標と内容を2学年まとめて示す。
- (イ) 「表現」の領域については、多様で創造的な表現を促す観点から、現在低学年と中学年において指導することとしている、材料などをもとにして楽しく造形活動を行う内容を、高学年でも指導することとする。また、絵に表すことや立体に表すこと、つくりたいものをつくることの内容を一層関連付けたり一体的に扱えるようにする。

【参考・小学校学習指導要領解説 図画工作編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱いより抜粋】

- 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 - (2) 各学年の内容の「A表現」の(2)の指導に相当する授業時数については、つくりたいものをつくることや工作に表すことの内容に相当する授業時数が、絵や立体に表す内容に相当する授業時数とおおよそ等しくなるよう計画すること。
 - (3) 各学年の内容の「B鑑賞」の指導については、「A表現」との関連を図るようにすること。ただし、児童や学校の実態に応じて、指導の効果を高めるため必要がある場合には、独立して行うようにすること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 概括的な調査研究（調査結果は「別紙1」）

調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 「表現」の内容別題材数	教科目標、各学年の目標(1)(2)	個
b 内容を関連させて示した題材数	教科目標、各学年の目標(1)(2)	個
c 「鑑賞」の題材数	教科目標、各学年の目標(3)	個
d 作品等の取り上げ方	教科目標、各学年の目標(3)	個
e 学習指導要領に示していない内容	学習指導要領の一部改正	箇所

イ 具体的な調査研究（調査結果は「別紙2」）

具体的な調査研究の対象とした事項

- ・「表現」の内容のうち「材料をもとにした造形活動」の内容の扱い
- ・表紙・裏表紙の見返しの内容事項の選択

調査対象事項を設定した理由・比較上の工夫及び留意点

「表現」領域のうち、「材料をもとにした造形活動」は多様で創造的な表現を促す観点から、現行の学習指導要領では、低学年と中学年に加えて、高学年でも指導することとなっている。そこで、その取り上げ方を調査し、比較する。

また、児童が「つくりだす喜びを味わうようにする」という教科目標の具現化のために、児童の興味・関心を高める具体的な内容事項の取り上げ方を調査し、比較する。

調査研究の方法

- 「材料をもとにした造形活動」の内容の取り上げ方について、全学年について調査し、学年別に整理する。
- 「表現」及び「鑑賞」の学習の手掛かりとなる内容事項を、表紙、及び裏表紙の見返しのページについて調査し、学年別に整理する。

* 学習指導要領に示していない内容について（調査結果は「別紙2-2」）

学習指導要領の一部改正により、学習指導要領に示していない内容について取り上げることができるとされたため、その扱いの有無、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。

(2) 構成・分量（調査結果は「別紙3」）

調査研究項目	数値データの単位
a 2ページにわたる内容別題材数	個
b 鑑賞資料のページ数	ページ
c 半ページ以上にわたる大きさの作品数	個

(3) 表記・表現および使用上の便宜（調査結果は「別紙3」）

調査研究項目	数値データの単位
a 製作過程、表現技法、材料・用具の扱いに関する資料のページ数及び写真の数	ページ 個
b 1ページ当たりの説明文等の数	個
c 安全についての記載箇所数	箇所
d 解説文等がついている作品数	個
e 編集上の工夫・その他	文章表記

「別紙1」【(1)内容 ア 概括的な調査研究】(小学校 図画工作)

項目 発行者	a 「表現」の内容別題材数				b 内容を関連させて示した題材数	c 「鑑賞」の題材数	d 作品等の取り上げ方					e 学習指導要領に示していない内容
	材料をもとにした造形活動	絵に表す	立体に表す	つくりたいものをつくる・工作に表す			児童作品	美術作品	暮らしの中の作品等	児童の造形活動の様子	計	
東書	11 10.7%	10 9.7%	2 1.9%	7 6.8%	62 60.2%	11 10.7%	464	40	90	246	840	1
開隆堂	13 8.1%	42 26.1%	9 5.6%	25 15.5%	53 32.9%	19 11.8%	585	48	15	167	815	0
日文	2 2.0%	21 21.0%	7 7.0%	13 13.0%	40 40.0%	17 17.0%	463	74	113	212	862	0
平均値	8.7 6.9%	24.3 18.9%	6.0 4.8%	15.0 11.8%	51.7 44.4%	15.7 13.2%	504.0	54.0	72.7	208.3	839.0	0.3

【調査結果】 表の中の「平均値」は小数点第2位を四捨五入した。

- a) 「表現の内容別題材数」については、「表現」の内容別題材数の全体に占める割合では、開隆堂が55.3%で内容を単独で示した題材が最も多く、東書は29.1%で最も少ない。題材の中で「材料をもとにした造形活動」は、東書が全体の10.7%で最も多く、日文が2.0%で最も少ない。「絵に表す」、「つくりたいものをつくる・工作に表す」は、開隆堂が26.1%、15.5%で最も多く、「立体に表す」は、日文が7.0%で最も多い。
- b) 「内容を関連させて示した題材数」については、東書が60.2%で全体に占める割合が最も多く、開隆堂が32.9%で最も少ない。
- c) 「鑑賞の題材数」については、日文が17.0%で最も多く、東書が10.7%で最も少ない。
- d) 「作品等の取り上げ方」については、「児童作品」は、開隆堂が585で最も多く、「美術作品」、「暮らしの中の作品等」は、日文が74、113で最も多い。「児童の造形活動の様子」は、東書が246で最も多く、最も少ない開隆堂の167の約1.5倍である。

「別紙2」 【(1)内容 イ 具体的な調査研究 発行者 東書】 (小学校 図画工作)

		第1、2学年	第3、4学年	第5、6学年
「材料をもとにした造形活動」の内容の扱い		<p>「かぜと いっしょに ひらひら」 (造・作) 「だいすき いっぱい」(造・絵) 「しんぶんであそぼう」(造) 「どろんこ わあい！」(造) 「ねんどで あそぼう」(造) 「どンドン かいちゃおう」(造) 「ころころ ペったん」(造・絵)</p>	<p>「やわらかい とう明な光につつまれて」(造) 「絵のぐの行き先どこまでも」(造) 「まほうの絵のぐ」(造・絵) 「今日から森の人になる」(造) 「だんだん だんボール」 (造・立・作) 「ねん土はつづくよ、広がるよ」(造・立)</p>	<p>「ぐるぐる ぐるぐる まきつける」 (造・立・作) 「通りぬける光」(造)</p>
		<p>「つんでつんで、ならべてならべて」 (造) 「大きなかみに 大きなゆめのせて」 (造・絵) 「こんな かげ どっきり！」(造) 「くるくる くねくね つながって」 (造・絵・作)</p>	<p>「空気いっぱい とじこめて」 (造・作) 「水の中ににじを入れたよ」(造) 「大切なものって目に見えないんだよ」(造・鑑) 「教室が森に大へん身」 (造・作・立)</p>	<p>「風の中、布たちがはためくよ」(造・作) 「出現！ゆめ空間」(造・作)</p>
表紙・裏表紙の見返しの内容事項の選択	裏表紙	<p>みてみて、たのしいよ！ みんなの どうぐばこ ・はさみの使い方 ・のりやせつちやくざい ・かたをつかってうつしてみたら ・ねんどっているいろいろできるね ・ほかにこんなものもつかえるね</p>	<p>見て見て、すごいでしょ！ みんなの道ぐばこ ・ふでやパレットの使い方 ・はじき絵って何？ ・あつ紙をおるとき、だんボールを切るとき ・木の切り方、くぎのうち方 ・ひもでむすぶには ・ほかにこんなものもつかえるね</p>	<p>見て見て、いい感じでしょ！ みんなの道具箱 ・電動糸のこぎりの使い方 ・ねん土の形のつくり方いろいろ ・ペンチの使い方 ・空き缶を切ったり曲げたりするには ・針金の曲げ方 ・ほかにこんな物も使えるね</p>
		<p>見て見て、たのしいよ！ みんなの どうぐばこ ・カッターナイフの使い方 ・ひっかいてかく絵、ぼかしてかく絵 ・こすり出してうつす ・きりぬいたかたちをうつす ・かみのはんでうつす ・ほかにこんなものもつかえるね</p>	<p>見て見て、すごいでしょ！ みんなの道具箱 ・彫刻刀の種類、使い方 ・絵の具の混色、水の量 ・木版画の刷り方 ・きりの穴の開け方 ・ほかにこんな物も使えるね</p>	<p>見て見て、いい感じでしょ！ みんなの道具箱 ・彫り進み版画 ・コンピュータで色や形を変えてみると ・木と木をつなげる、けずる ・人や動物の心棒の作り方 ・ほかにこんな物も使えるね</p>

「別紙2」 【(1)内容 イ 具体的な調査研究 発行者 開隆堂】 (小学校 図画工作)

		第1、2学年	第3、4学年	第5、6学年
「材料をもとにした造形活動」の内容の扱い		<p>「しぜんとなかよし」(造) 「ふわふわポンポン」(造・作) 「すきな かんじに はりたいな」(造・絵) 「てで さわってかくの きもち いい!」(造・絵) 「ならべて つなげて」(造) 「くしゃくしゃがみから うまれたよ」(造・作) 「うつしてあそぼう」(造・絵) 「おおきなかみでげんきいっぱい」(造)</p>	<p>「ゆめをかたちに」～花となかよく～(造・鑑) 「色と形の絵のぐあそび」(造・絵) 「長い紙、つくって」(造) 「いつものばしよで・・・」(造) 「くぎうちトントン」(造・作・立) 「だんだんだんボール」(造・作・立)</p>	<p>「自然と、自分と、そよ風と」(造) 「風の動きをすてきにみせよう」(造) 「音のある風景」(造・作)</p>
		<p>「土って きもちが いい」(造) 「さわり ごごちが かわったよ!」(造) 「いろいろあつめて なにしてあそぶ」(造・作・立) 「ちきゅうからの おくりもので」(造・作) 「しぜんを あつめて」(造・作) 「ほわほわ むくむく」(造)</p>	<p>「わたしは 絵の具のマジシャン」(造・絵) 「むすんで、つないで」(造) 「いい場所見つけて かこんでみよう」(造・鑑) 「だんボール、切って、つないで...」(造・作)</p>	<p>「おどる光、遊ぶかけ」(造) 「きらめく水、かがやくしずく」(造) 「学校は大きな表現ステージ」(造・立・作)</p>
表紙・裏表紙の見返しの内容事項の選択	裏表紙	<p>ちいさな びじゅつかん ・児童作品、美術作品 どうぐばこ ・はさみの使い方 ・のりと接着剤の使い方 ・ざいりょうは たからもの</p>	<p>小さなびじゅつかん ・児童作品、美術作品 どうぐばこ ・げんのう・かなづちの使い方 ・ドライバーの使い方 ・くぎをぬく ・ざいりょうは たからもの</p>	<p>小さな美じゅつかん ・児童作品、美術作品 どうぐばこ ・ペンチの使い方 ・アルミかん工作にチャレンジ ・材料は たからもの</p>
		<p>小さな びじゅつかん ・児童作品、美術作品 どうぐばこ ・カッターナイフの使い方 ・小がたなの使い方 ・いろいろな ざいりょうを はりた いな ・ざいりょうは たからもの</p>	<p>小さな美じゅつかん ・児童作品、美術作品 どうぐばこ ・のこぎりの使い方 ・ざいりょうは たからもの</p>	<p>小さな美術館 ・児童作品、美術作品 どうぐばこ ・やすりの使い方 ・ちょうつがいの使い方 ・はけの使い方 ・材料は たからもの</p>

「別紙2」 【(1)内容 イ 具体的な調査研究 発行者 日文】 (小学校 図画工作)

		第1、2学年	第3、4学年	第5、6学年
「材料をもとにした造形活動」の内容の扱い		<p>「できた できた」(造・絵) 「どんどん ならべて」(造) 「さわって かんじて」 (鑑・造・絵) 「こっちに おいでよ」(造・作) 「おもしろい かたち いっぱい」 (造・作) 「ペタペタペタン」(造・絵)</p>	<p>「きせつのなかで」(造・作・立) 「ふわふわゴーゴー」(造・作) 「切って切ってトントントン」 (造・立・作)</p>	<p>「ダイナミックスペース」 (造・作・立) 「光とかげ」(造・作・立)</p>
		<p>「たのしいな」(造・作・絵) 「どんどん できるよ」(造・作) 「ひかりの おくりもの」(造・作)</p>	<p>「ざいりょう物語」(造・作・立) 「ワンダーランドへようこそ」 (造・作) 「へん身 パッ!」(造・作・絵)</p>	<p>「地球アート」(造) 「やさしい紙」(造・作) 「ワクワクカーニバル」(造・作)</p>
表紙・裏表紙の見返しの内容事項の選択	裏表紙	<p>みつけたよ ぞうけいずかん～いきている なかま～ たくさんの いきものたち いろいろな すがたを しているね。</p>	<p>たしかめながら ぞうけいずかん～あつまれあつまれ～ いろいろな形や色が、 あつまっているね。どんなものが あつまっているのかな。</p>	<p>自信をもって ぞうけいずかん～人はつくる～ ・伝統工芸作品について ・ねん土アニメーター ・紅型作家 ・彫刻家 ・バツタ型バルーン</p>
		<p>たのしいよ ぞうけいずかん～花や草となかよし～ みんなの まわりにも いろいろな いろの 花や 草が あるね。</p>	<p>たしかめながら ぞうけいずかん～包む形いろいろ～ いろいろなものが包んであるね。 どんな思いがこめられているのかな。</p>	<p>思いを広げて ぞうけいずかん～伝え合おう～ 形や色に思いをこめて。 ・看板、マーク、生活デザインなど</p>

「別紙2 - 2」 【 学習指導要領に示していない内容 発行者 東 書 】 (小学校 図画工作)

学年	扱いの有無	取り上げている内容	具体的な学習の内容
第1・2学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
第3・4学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
第5・6学年	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	<p>お手玉 ・家庭科の学習を生かしてお手玉をつくってみたよ。</p>	<p>ぬののうら側を表にしてつつ型をぬう。両はしは糸を残し、まわりをぐるりとぬう。残した糸をしぼって結び、ぬのを表に返して中に米やあずきなどを入れる。もう一方のはしも、しぼって結ぶ。</p>

「別紙2 - 2」 【 学習指導要領に示していない内容 発行者 **開隆堂** 】 (小学校 図画工作)

学年	扱いの有無	取り上げている内容	具体的な学習の内容
第1・2学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
第3・4学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
第5・6学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		

「別紙2 - 2」 【 学習指導要領に示していない内容 発行者 日 文 】 (小学校 図画工作)

学年	扱いの有無	取り上げている内容	具体的な学習の内容
第1・2学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
第3・4学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
第5・6学年	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		

「別紙3」 【(2)構成・分量 (3)表記・表現及び使用上の便宜】 (小学校 図画工作)

項目 発行者	(2)構成・分量								(3)表記・表現及び使用上の便宜					
	a 2ページにわたる内容別題材数						b 鑑賞資料の ページ数	c 半ページ以上 にわたる作品 数	a 製作過程、 表現技法、材 料、用具の扱 いに関する資 料		b 1ページ当 たりの説 明文等 の数	c 安全につ いての記 載箇所 数	d 解説文等 がついて いる作品 数	e 編集上の工夫・その他
	材 料を も 活 動 に	絵 に 表 す	立 体 に 表 す	工 作 に 表 す	つ く り たい もの をつ くる	関 連 す る 題 材			鑑 賞	ペ ー ジ 数				
東書	10	10	2	7	60	5	38	58	24	272	5.5	18	387	各題材に、「何を(表現主題)」「何で(材料・用具)」「どうやって(方法・技術)」の3つの観点を示している
開隆堂	1	9	6	9	24	14	42	36	30	367	5.5	21	502	4つの学習の「めあて」を設け、各題材のいちばん大きな「めあて」について、具体化して明示している。
日文	2	21	7	12	38	13	35	45	18	223	5.9	17	405	3つの学習の「めあて」を設け色別に示し、各題材ごとに具体化して明示している。
平均値	4.3	13.3	5.0	9.3	40.7	10.7	38.3	46.3	24.0	287.3	5.6	18.7	431.3	

【調査結果】 表の中の「平均値」は小数点第2位を四捨五入した。

- (2) a 「2ページにわたる内容別題材数」については、全体では、東書が94、日文が93で多く、開隆堂が63で最も少ない。題材の中で、「材料をもとにした造形活動」については、東書が10で最も多い。「絵に表す」、「立体に表す」、「つくりたいものをつくる・工作に表す」については、日文が21、7、12で最も多い。「鑑賞」については、開隆堂が14、日文が13で多く、東書が5で最も少ない。
- (2) b 「鑑賞資料のページ数」については、開隆堂が42で最も多く、日文が35で最も少ない。
- (2) c 「半ページ以上にわたる大きさの作品数」については、東書が58で最も多く、最も少ない開隆堂の36の1.5倍以上である。
- (3) a 「製作過程、表現技法、材料、用具の扱いなどに関する資料」については、「ページ数」、「図や写真の数」では、開隆堂が、30、367で最も多く、日文が18、223で最も少ない。
- (3) b 「1ページ当たりの説明文等の数」については、日文が5.9で多く、東書、開隆堂が5.5で同数ある。
- (3) c 「安全についての記載箇所数」については、開隆堂が21で最も多く、東書が18、日文が17で少ない。
- (3) d 「解説文等がついている作品数」については、開隆堂が502で最も多く、最も少ない東書の387と100以上の差がある。